

## 土壌・地下水に対する取り組みについて

### 1. はじめに

株式会社 SUMCO 野田工場では、自主調査で確認された土壌・地下水の環境基準値の超過を受け、汚染拡散防止対策および汚染対策を行っています。対策開始より約 2 年が経過し、現在の状況および今後の方針について以下に御報告します。

### 2. 環境基準値を超過している物質

表-1 環境基準値超過が確認された物質

項目	物質名
第一種特定有害物質 (揮発性有機化合物・VOCs)	・テトラクロロエチレン ・トリクロロエチレン ・シス-1,2-ジクロロエチレン*
第二種特定有害物質 (重金属等)	・フッ素

(\*1 シス-1,2-ジクロロエチレンはテトラクロロエチレンおよびトリクロロエチレンからの分解生成物です。)

### 3. 近隣周辺の既存井戸への影響について

VOCs については、平成 17 年度に実施された千葉県および野田市による近隣周辺の既存井戸の調査では、1 箇所環境基準値超過が確認されましたが、平成 19 年度に実施された千葉県および野田市による調査では、近隣周辺の既存井戸において環境基準値超過は確認されておりません。

ふっ素については、平成 19 年度に実施された千葉県および野田市による調査では、近隣周辺の既存井戸において環境基準値超過は確認されておりません。

### 4. 対応状況

#### 4-1. 揮発性有機化合物 (VOCs) の対策について

地下水汲み上げ井戸<sup>\*3</sup>を、地下水流向の下流側に相当する敷地境界に 28 箇所 (バリア井戸)、敷地内の汚染確認地点に 11 箇所 (汚染対策井戸) 設置し、地下水が敷地外に流出するのを防止するとともに、汚染物質の回収を行っています。

(\*3 汲み上げた地下水は浄化装置を用いて無害化しています)

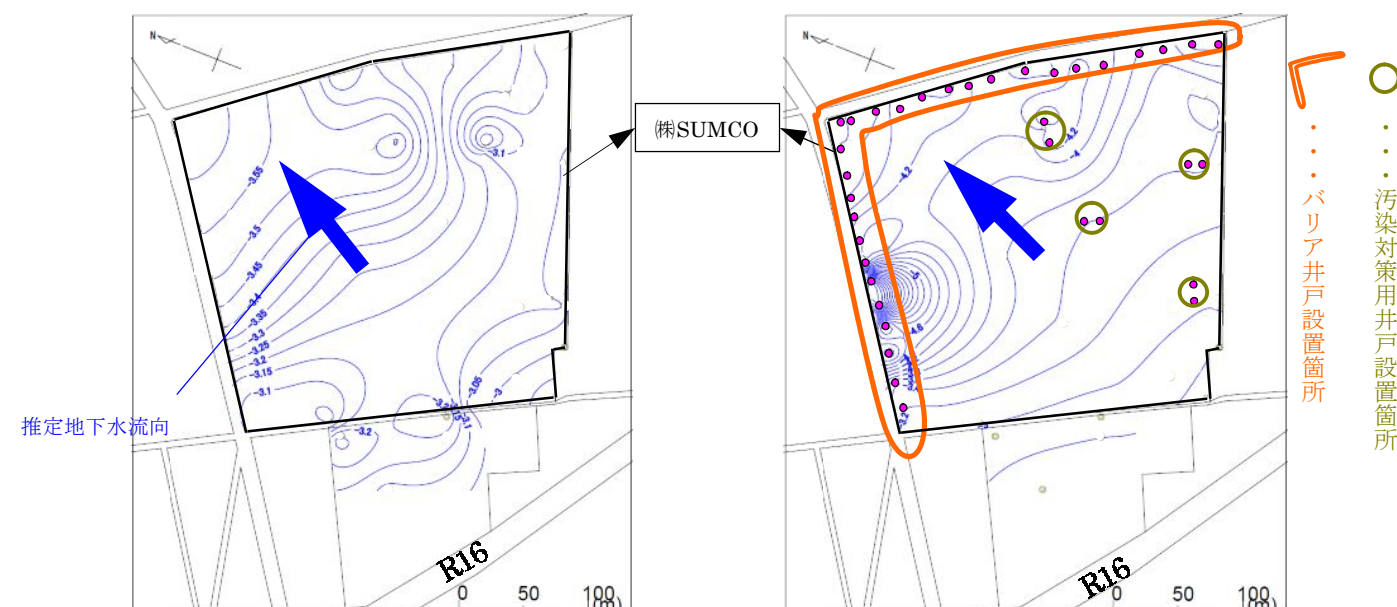


図-1 推定地下水流向 (自然状態)

図-2 推定地下水流向 (バリア井戸稼働時)

#### 4-2. 揮発性有機化合物 (VOCs) 対策の効果について

表-2 地下水揚水量および VOCs の推定回収量

		地下水揚水量 (m <sup>3</sup> ) および VOCs の推定回収量 (kg)			
		H18 年実績	H19 年実績	H20 年 7 月まで	累計
揚水量 (36 箇所)		98,945 m <sup>3</sup>	99,939 m <sup>3</sup>	72,449 m <sup>3</sup>	271,333 m <sup>3</sup>
推定回収量	テトラクロロエチレン	17.3 kg	3.6 kg	1.1 kg	22.0 kg
	トリクロロエチレン	13.2 kg	4.7 kg	3.3 kg	21.2 kg
	シス-1,2-ジクロロエチレン	125.3 kg	58.7 kg	54.6 kg	238.6 kg

#### 4-3. ふっ素の対策について

- ①汚染土の掘削除去 : 行政のご指導の下、汚染土壌の撤去・健全土の埋戻しを行いました。
- ②工場排水放流槽の設置 : 工場排水が漏洩するのを防止するため、新たにコンクリート製の工場排水放流槽を設置しました。



図-3 汚染土の掘削除去



図-4 工場排水放流槽の設置

#### 5. 今後の方針について

- ・汚染拡散防止対策ならびに汚染対策を継続します。
- ・定期的に地下水モニタリングを行い、対策の効果や地下水の状況を確認しながら、調査を継続します。
- ・千葉県ならびに野田市のご指導を仰ぎながら、必要に応じ追加の調査および対策を行います。

以上